

各 位

普通鋼電炉工業会

「2012年 電炉鋼材フォーラム」開催のご案内

名古屋会場

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

普通鋼電炉会社は、鉄スクラップを電気炉により溶解・圧延し、鉄筋、形鋼、平鋼、厚板等の電炉鋼材を生産しております。電炉鋼材は建設分野を中心に幅広く使用されており、また今日、環境・資源循環等の観点からも鉄のリサイクルによって生まれる電炉鋼材への関心は日々高まっております。

当工業会では、毎年「電炉鋼材フォーラム」を開催し、官公庁・自治体・建設会社・設計会社・鉄骨加工・鉄筋加工・流通・教育研究関係をはじめとするユーザーの方々をお招きし、電炉鋼材の生産技術、鋼材使用の動向、電炉業をめぐる動きについての情報発信の場となるよう企画しております。本年は、名古屋会場(10/2、東京会場(10/23)、大阪会場(11/13)で開催いたします。

名古屋会場は、下記のとおり開催いたしますので、関係の方々のご出席をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

記

- 1.日 時：平成24年10月2日（火） 午後1時～4時30分
- 2.場 所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)5階 小ホール
(名古屋市中村区名駅4-4-38 裏面案内図ご参照)
- 3.内 容：「2012年電炉鋼材フォーラム プログラム」をご覧ください。
*参加費無料です。 当日、関連資料を配布いたします。
- 4.パンフレット展示コーナー：産業労働センター小ホール内に開設します。
*会員会社の製品パンフレットを入手・持ち帰りができます。
- 5.申込方法：FAX：別添「参加申込用紙」にご記入の上ご送信ください。
当工業会ホームページ <http://www.fudenkou.jp>からも申込みができます。
- 6.申込み期限：名古屋会場 平成24年9月21日（金）
*なお、会場定員に達した場合は締め切とさせていただきます。
申し込まれた方の確認は、当日会場受付でさせていただきます。
事前に入場証等はお送りいたしません。
- 7.申込・問合せ先：普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125
(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館3階)

以上

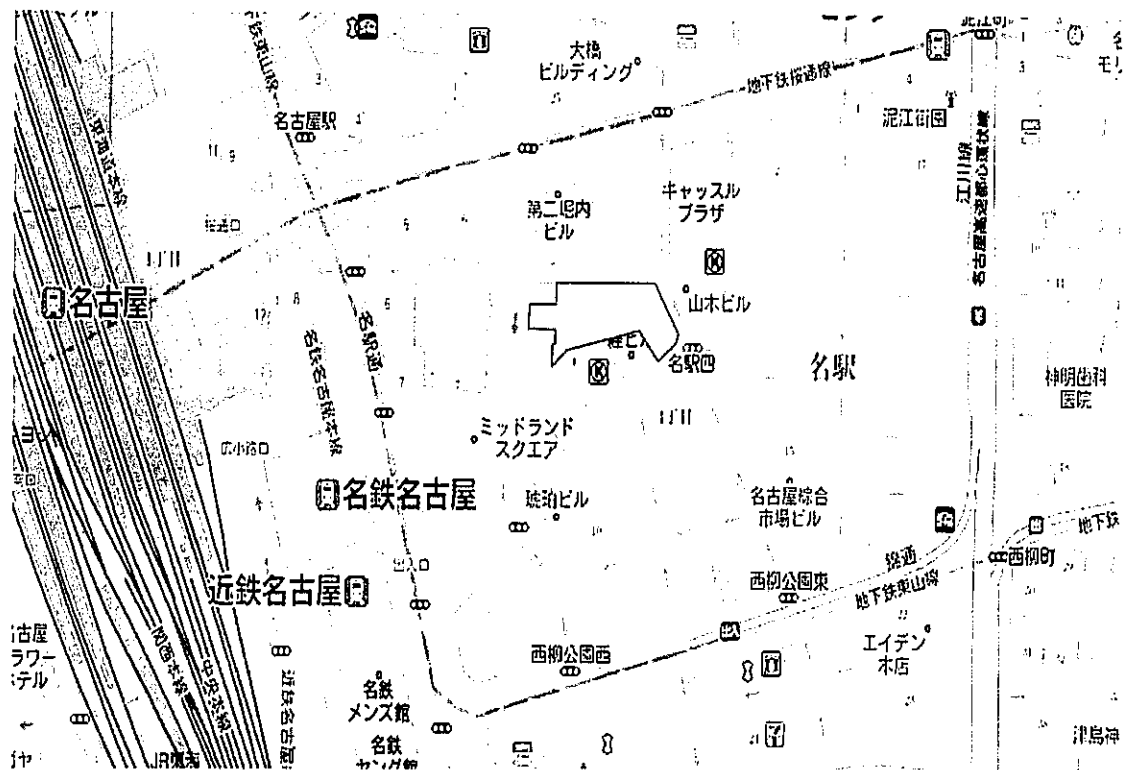
2012年 電炉鋼材フォーラム 名古屋会場ご案内図

2012年10月2日(火) 午後1時~4時30分
愛知県産業労働センター(ウイंकあいち) (5階) 小ホール
愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL 052-571-6131

案内図

地図中のほぼ中央に位置する太線枠内が愛知県産業労働センター会場となります。

JR名古屋駅より徒歩5分



2012年 電炉鋼材フォーラム

《プログラム》

1. 開催日時場所

主催 普通鋼電炉工業会

開催日	場所	開催時間：午後1時00分～4時30分	参加費：無料
平成24年10月2日(火)	名古屋	愛知県産業労働センター ウィンクあいち 小ホール(5階) (定員200名)	愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL052-571-6131
平成24年10月23日(火)	東京	東京国際フォーラム ホールB7(7階) (定員500名)	東京都千代田区丸の内3-5-1 TEL03-5221-9050
平成24年11月13日(火)	大阪	大阪産業振興機構 マイドームおおさか Bホール(2階) (定員350名)	大阪市中央区本町橋2-5 TEL06-6947-4302 (当日用)

2. 会場プログラム

・以下プログラム内容は各会場共通 各社パノフレット展示 *普通鋼電炉工業会 TEL03-5640-1122 FAX03-5640-1125 <普電工 ホームページ <http://www.tudenkou.jp>>

<p>13:00-13:10</p> <p>開会挨拶</p> <p>普通鋼電炉工業会 代表</p>
<p>13:10-13:40 発表30分— 質問時間を含む</p> <p>最近の電炉鋼材の概況 — 電炉業の紹介ビデオ「DENRO」 —</p> <p>普通鋼電炉工業会 品質管理委員会</p> <p>普通鋼電炉鋼材は、鉄筋棒鋼、一般形鋼、H形鋼、平鋼、厚板等として主に建設分野で使用されている。製造工程においては、鉄スクラップを主原料とし、溶解・精錬・圧延工程を経て新しいクリーンな鉄を再生しており、一層の品質管理の推進と徹底を図っている。資源循環型産業である電炉業の製造現場の様子等をビデオ上映するので、工場見学するつもりでご覧いただきたい。</p>
<p>13:40-14:35 発表55分— 質問時間を含む</p> <p>講演</p> <p>「中国鉄鋼業のエネルギー消費とCO²排出：その現状、要因、対策と展望」</p> <p>東北大学大学院経済学研究科 教授 川端 望</p> <p>中国鉄鋼業がエネルギーを大量に消費し、CO²を大量に排出する原因はどこにあるのか？ 中国政府ほどここまで本気になって省エネルギー・CO²排出削減にとりこんでいるのだろうか？ 実際に中国鉄鋼業の生産構造はどのように変化しているのだろうか？ 日中鉄鋼技術協力の重点はどこにあるべきだろうか？ 最新のデータから考えてみたい。</p>
<p>14:35-14:45 休 憩</p>
<p>14:45-15:40 発表55分— 質問時間を含む</p> <p>講演</p> <p>「東京スカイツリー®建設について ～世界一への挑戦～」</p> <p>㈱大林組 技術本部企画推進室 部長 田村 達一</p> <p>株式会社大林組が施工者として建設工事に携わった「東京スカイツリー」は、約3年8カ月におよぶ建設期間を経て完成した。さまざまな困難を克服し、日本中に深く大きな傷跡を残した東日本大震災にも被害を出すことなく、復興のシンボルとしての役割をも担いながら5月22日に開業を迎えている。</p> <p>本講演では、巨大であることと精密であることを両立させながら、未知の領域での建設工事を計画通りに進めることを可能にした同社のさまざまな技術や工法の紹介を通じて、日本の力と、「ものづくり」にかける情熱を感じていただきたい。</p>
<p>15:40-16:30 発表50分— 質問時間を含む</p> <p>講演</p> <p>「2020年の鉄源需給の展望」</p> <p>㈱鉄リサイクルング・リサーチ 代表取締役 林 誠一</p> <p>21世紀に入ってはや11年が経過した。中頃から中国が抜き出でて世界を牽引し続け、後半では鉄鋼生産が過去27年前に戻るほどの大世界経済ショックと、想定外の災害を体験した。今なおその影響から抜け切れないでいる。次の10年はいかなる姿が展望されるのであろうか？ やはり中国が世界をリードしているのだろうか？ 日本の姿は？ 世界や日本の発展の経緯を振り返りながら2020年の鉄源需給を展望する。</p>

2012年 電炉鋼材フォーラム 申し込み用紙

申し込み会場にレ点を入れてください。お申込は会場ごとをお願いします。

名古屋会場 2012年10月2日(火)開催於:愛知県産業労働センター5F 小ホール [申込期限:9月21日(金)]

東京会場 2012年10月23日(火)開催於:東京国際フォーラム7F ホールB7 [申込期限:10月12日(金)]

大阪会場 2012年11月13日(火)開催於:大阪産業振興機構 2F Bホール [申込期限:11月 2日(金)]

<申込者> ご出席者をお知らせください。よろしくお申し込み申し上げます。

会社名等		
所属役職		
氏名(ふりがな)	()	どちらかに○を付けてください。 申込者は、出席・欠席する。
住所	〒	
連絡先	TEL	FAX

出席者の業種 ○印をお付けください。

1. 官公庁、自治体、教育、団体関係 2. 建設会社 3. 設計会社 4. 橋梁メーカー 5. 鉄筋加工・圧接関係
6. 鉄骨加工関係 7. 機械・造船・自動車 8. 商社、流通、特約店等 9. その他()

普通鋼電炉工業会からは参加証を事前にお送りしませんので、申し込まれた方は当日会場受付にお出でください。

出席者氏名 出席者確認のための名簿を作成します。 *用紙は必要に応じ、コピーして下さい。

会社名	所属役職	氏名 (ふりがな)	Tel
		()	
		()	
		()	
		()	

*ご案内先の変更・修正等がございましたら、本案内の封筒に指示をご記入の上、FAX 03-5640-1125宛にご送信下さい。 宛先変更 送信中止 (理由: 業務に不要のため その他)